

景況レポート

No.144

2023年7月～9月期



北見しんきん

〒090-8711 北見市大通東1丁目2番地1
電話(代) 0157-24-7531
URL: <http://www.shinkin.co.jp/kitami/>
本レポートはホームページでもご覧になれます。

景気動向

道内景気

日本銀行札幌支店が10月2日に発表した9月の企業短期経済観測調査結果(短観)によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数(DI:「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値)は全産業で『10』となり、前回の調査『8』から改善しました。内訳では、製造業(前回▲9→今回▲3)は改善、非製造業(前回13→今回13)は横ばいでした。2023年12月までの全産業での先行き予測は5と、悪化の見通しです。

また9月25日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、持ち直している。公共投資は、増加している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、着実に増加している。観光は、回復している。設備投資は、緩やかに持ち直している。輸出は、弱めの動きがみられる。住宅投資は、減少している。生産は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

【公共工事請負金額】 前年を上回った。

【個人消費】 百貨店は、持ち直している。スーパーは、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに増加している。コンビニエンスストアは、増加している。ドラッグストアは、増加している。家電販売は、緩やかに持ち直している。乗用車販売は、持ち直している。サービス消費は、回復している。

【観光】 回復している。

【新設住宅着工戸数】 持家、分譲は、減少している。貸家は、低水準で推移している。

【生産(鉱工業生産)】 横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。主要業種別にみると、食料品は、横ばい圏内の動きとなっている。電気機械は、緩やかに持ち直している。輸送機械は、持ち直しの動きが一服している。紙・パルプは、低水準で推移している。

【雇用・所得情勢】 緩やかに改善している。

【消費者物価(除く生鮮食品)】 前年を上回って推移している。なお、前年比伸び率はほぼ前月並みとなった。

【企業倒産】 引き続き低水準で推移しているものの、このところやや増加している。

地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDI値は、売上高が2と12ポイントの改善、収益も▲11と10ポイントの改善でした。直前3ヵ月と比較した今後3ヵ月の見通しでは、売上DI値は3、収益DI値は▲12と悪化の見通しとなっています。

特別調査 【中小企業の将来を見据えた事業承継について】

円滑な事業承継体制の確立は、中小企業における経営者の高齢化が進むなかで、必要不可欠なテーマとなっています。そこで、今回は中小企業の将来を見据えた事業承継について調査しました。

【社長(代表者)の年齢階層と後継者について】

社長の年齢階層については、60歳代が30.4%、70歳代以上が23.8%と合計で半数以上を占め、いずれも全国水準を上回りました。

また、後継者については、17.8%が必要ないとしており、全国水準(6.8%)を上回っています。

【事業承継の考え方について】

現時点における事業承継の考え方については、子供(娘婿なども含む)に継承が30.6%と最も多いものの、全国水準(38.9%)を下回りました。

一方、非同族の役員、従業員に継承が12.2%、非同族の社外人材に継承が2.2%といずれも全国水準を上回っています。

【事業承継に関する問題】

事業承継に関する問題については、「事業の将来性」が59.1%と最も多く、全国水準(49.1%)を上回りました。次いで「後継者の力量(27.1%)」「取引先との信頼関係の維持(26.0%)」の順で、全国水準も同様の順となっています。また、従業員の雇用維持が21.6%と全国水準(14.2%)を上回っています。

【事業承継を進めていく上で信用金庫に期待すること】

「個別相談」が18.0%、「後継者教育・セミナー等」が11.2%となりました。

また、「特にない」が27.5%と全国水準(26.6%)と同様となっており、「自社で解決」が17.4%と全国水準(9.4%)を上回っています。

【M&Aについて】

「従業員の雇用維持(33.7%)」が最も多く、以下「事業を最適な先に譲渡できる(22.7%)」と続き、全国と同様の傾向となっています。一方「事業拡大戦略の1つ」が13.3%と全国水準(21.7%)を下回っています。

【貴社の社長(代表者)の年齢階層はいずれに属しますか。次の1~5の中から1つ選んでお答えください。また、貴社の後継者問題について最もあてはまるものを6~0の中から1つ選んでお答えください。】

社長の年齢階層		《全国》	
1. 20歳代	30歳代	4.4%	2.9%
2. 40歳代		15.5%	16.3%
3. 50歳代		26.0%	30.1%
4. 60歳代		30.4%	27.8%
5. 70歳代以上		23.8%	22.9%
後継者について		《全国》	
6. 後継者はすでに決まっている		23.3%	26.2%
7. 後継者はいるが、まだ決まっていない		22.8%	21.4%
8. 候補者が見当たらない		9.4%	9.3%
9. まだ考えていない		26.7%	36.3%
0. 後継者が必要ない (事業譲渡希望、廃業予定など)		17.8%	6.8%

【貴社の現時点における事業承継の考え方について最もあてはまるものを、次の1~0の中から1つ選んでお答えください。】

《全国》		《全国》	
1. 子供(娘婿なども含む)に承継	30.6%	38.9%	
2. その他の同族者(兄弟、親戚など)に承継	6.7%	7.0%	
3. 非同族の役員、従業員に承継	12.2%	10.0%	
4. 非同族の社外人材に承継	2.2%	1.1%	
5. M&A(第三者への事業譲渡)等	2.2%	3.1%	
6. 忙しくて考える余裕がない	6.1%	5.2%	
7. 何から手をつけていいかわからない	2.2%	2.4%	
8. 身近に相談相手がいない	0.0%	0.6%	
9. 現時点で考えるつもりはない	20.6%	24.8%	
0. 現在の事業を継続するつもりがない	17.2%	6.8%	

【貴社では事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。次の1~0の中から3つ以内で選んでお答えください。】

《全国》		《全国》	
1. 事業の将来性	59.1%	49.1%	
2. 取引先との信頼関係の維持	26.0%	27.8%	
3. 後継者の力量	27.1%	34.9%	
4. 候補者の選定・確保	14.4%	13.5%	
5. 従業員の雇用維持	21.6%	14.2%	
6. 従業員の理解	13.3%	11.8%	
7. 譲渡金額	4.4%	4.5%	
8. 借入金・個人保証の引継ぎ	14.9%	18.8%	
9. 個人資産の取扱い・相続税等の税金対策	5.5%	9.5%	
0. 特になし	18.2%	14.2%	

【中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫には何を期待しますか。信用金庫に対して期待していること、もしくは今後期待したいことについて、最もあてはまるものを次の1~0の中から1つ選んでお答えください。】

《全国》		《全国》	
1. 後継者教育・セミナー等	11.2%	14.1%	
2. 個別相談	18.0%	19.9%	
3. 専門家(税理士等)の紹介	1.7%	5.1%	
4. 事業譲渡先の紹介	3.9%	2.7%	
5. 事業承継前後の個人保証・担保への対応	5.6%	8.1%	
6. 早期の事業承継の準備への助言等	7.9%	7.8%	
7. 承継後の事業計画策定への助言等	5.1%	4.6%	
8. 自社の問題であるため自社で解決	17.4%	9.4%	
9. 特にない	27.5%	26.6%	
0. その他	1.7%	1.6%	

【近年、中小企業におけるM&A(第三者への事業譲渡)が話題になっていますが、M&Aについてどのような認識を持っていますか。下記の1~0の中から3つ以内で選んでお答えください。】

《全国》		《全国》	
1. 事業を最適な先に譲渡できる	22.7%	23.6%	
2. 従業員の雇用を維持できる	33.7%	27.0%	
3. 取引関係を維持できる	18.8%	17.1%	
4. 事業拡大戦略の1つである	13.3%	21.7%	
5. 乗っ取りなど負のイメージがある	8.3%	9.2%	
6. 中小企業にはなじまない	11.1%	13.3%	
7. 従業員の雇用維持に不安がある	13.8%	12.2%	
8. 専門家の支援が必要なものである	20.4%	18.7%	
9. その他	1.7%	1.1%	
0. よくわからない	26.5%	21.4%	

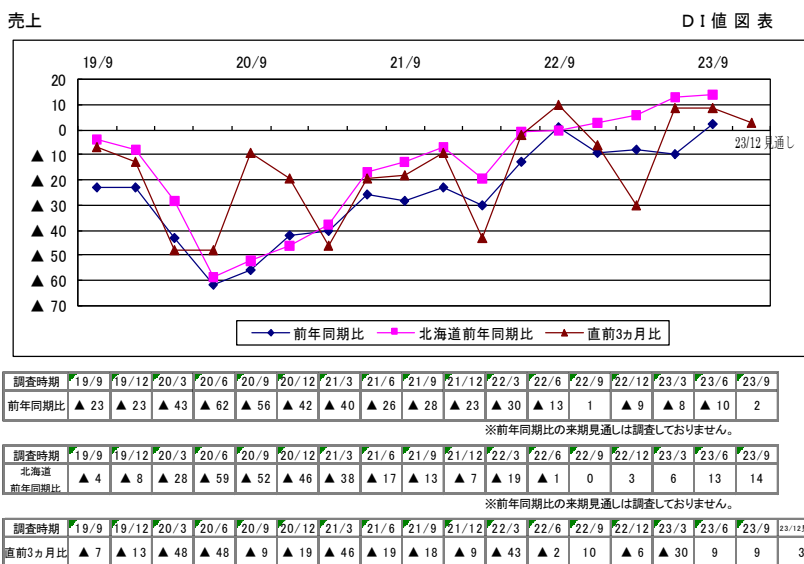
売上

調査対象先企業 181 社の売上を総体的にみますと、前年同期（22 年 7～9 月）と比較して「増加」した先 35%、「変わらず」の先 32%、「減少」した先 33%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は 2 となり、前回調査より 12 ポイント改善しました。

業種別で見ますと、卸売業・小売業・建設業・サービス業は改善、製造業は悪化となっています。

3 ヶ月毎の比較では横ばい、今後 3 ヶ月は悪化の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1 ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。



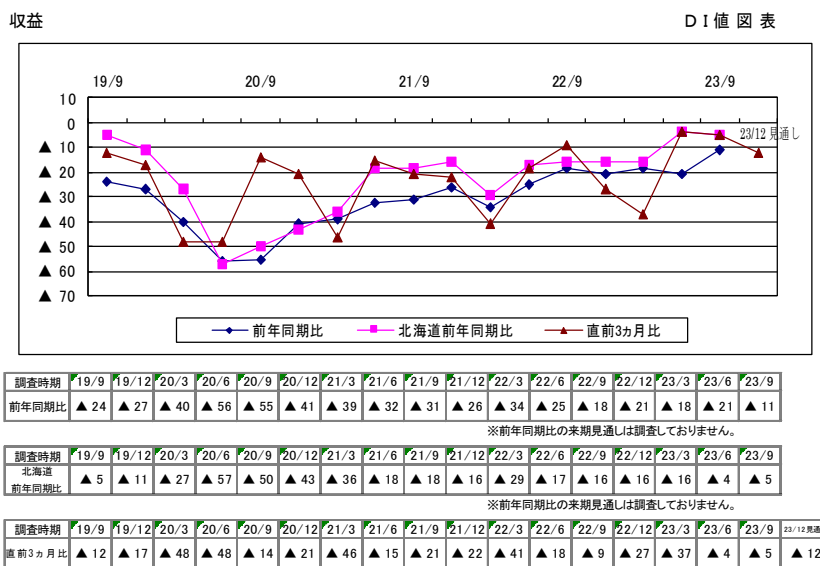
収益

調査対象先企業 181 社の収益を総体的にみますと、前年同期（22 年 7～9 月）と比較して「増加」した先 24%、「変わらず」の先 41%、「減少」した先 35%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲11 となり、前回調査より 10 ポイント改善しました。

業種別で見ますと、卸売業・小売業・サービス業は改善、製造業・建設業は悪化となっています。

3 ヶ月毎の比較では悪化、今後 3 ヶ月も悪化の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1 ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。



概況

調査先製造業全体の業況を前年同期（22年7～9月）と比較してみますと、売上で「増加」した先35%、「変わらず」の先20%、「減少」した先45%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲10となり、前回調査より16ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先29%、「変わらず」の先42%、「減少」した先29%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は0となり、前回調査より3ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	DI値
売上	前回(23/6)	12	9	10	6
	今回(23/9)	11	6	14	▲10
収益	前回(23/6)	10	12	9	3
	今回(23/9)	9	13	9	0

動向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

内訳をみますと、その他が売上・収益ともに大きく悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上、収益ともに悪化しました。

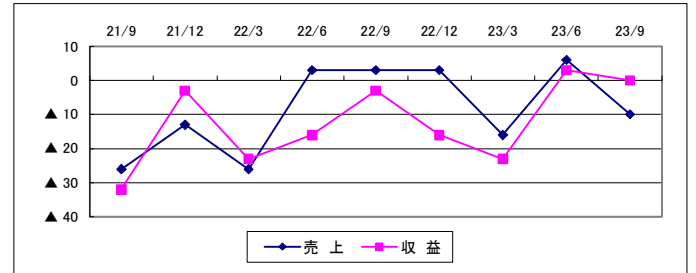
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善の見通しです。

調査員のコメントには、「販売価格上昇による買い控えの影響が大きい」、「仕入れ価格高騰分は売上へ転嫁できている」、「主要販売先が設備投資に慎重となり売上が落ち込んでいる」、「原材料の価格高騰について、今後は販売価格に転嫁する予定」、「住宅着工数の減少を危惧し、取扱商品の拡大を検討中」といったものがありました。

前年同期比

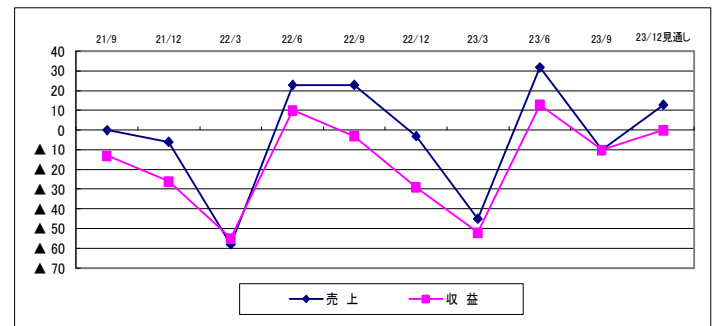
DI値図表



調査時期	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9
売上	▲26	▲13	▲26	3	3	3	▲16	6	▲10
収益	▲32	▲3	▲23	▲16	▲3	▲16	▲23	3	0

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12見通し
売上	0	▲6	▲58	23	23	▲3	▲45	32	▲10	13
収益	▲13	▲26	▲55	10	▲3	▲29	▲52	13	▲10	0

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	食料品	木材製品	建設関連	その他
売上額	4月～6月と比較	▲10	50	▲30	0	▲80
	10月～12月の見通し	13	38	0	25	▲20
収益	4月～6月と比較	▲10	38	▲30	0	▲60
	10月～12月の見通し	0	38	▲20	0	▲20
販売価格	4月～6月と比較	23	63	▲20	38	20
	10月～12月の見通し	17	38	▲10	25	20
原材料価格	4月～6月と比較	48	88	20	50	40
	10月～12月の見通し	29	63	0	25	40
原材料在庫	4月～6月と比較	3	0	▲10	13	20
	10月～12月の見通し	▲3	▲13	▲10	0	20
資金繰	4月～6月と比較	▲19	0	▲30	▲25	▲20
	10月～12月の見通し	▲7	0	▲20	0	0

概況

調査先卸売業全体の業況を前年同期（22年7～9月）と比較してみますと、売上で「増加」した先32%、「変わらず」の先45%、「減少」した先23%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は9となり、前回調査より23ポイント改善しました。

収益は「増加」した先23%、「変わらず」の先45%、「減少」した先32%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲9となり、前回調査より9ポイント改善しました。

販売価格は「増加」した先55%、「変わらず」の先45%、「減少」した先0%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は55となり、前回調査と同じでした。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	DI値
売上	前回(23/6)	6	7	9	▲14
	今回(23/9)	7	10	5	9
収益	前回(23/6)	4	10	8	▲18
	今回(23/9)	5	10	7	▲9
販売価格	前回(23/6)	13	8	1	55
	今回(23/9)	12	10	0	55

動向

【前年同期との比較】

売上・収益は改善し、販売価格は横ばいでした。内訳をみますと、その他は売上・収益ともに悪化しましたが、食料品・建設関連は全般的に改善しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善、販売価格は横ばいでした。

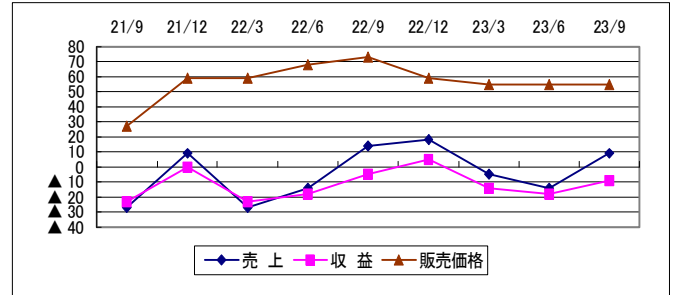
【今後3ヵ月の見通し】

売上は横ばい、収益は悪化、販売価格は下降する見通しです。

調査員のコメントには、「仕入価格の上昇、エネルギー価格高騰の影響等を今後注視している」、「原材料価格は高止まりが続いている」、「元請先が秋以降良好に推移し、当社業容も安定する見込み」、「高気温、大雨による収穫量減少を懸念している」といったものがありました。

前年同期比

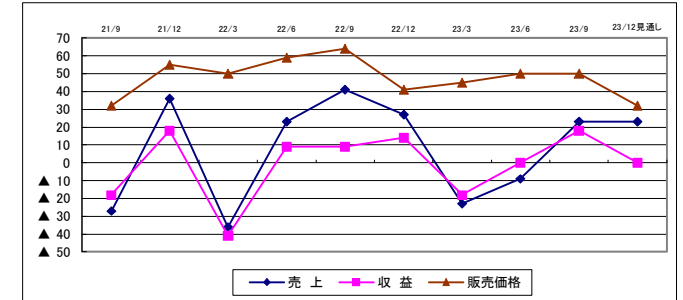
DI値図表



調査時期	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9
売上	▲27	9	▲27	▲14	14	18	▲5	▲14	9
収益	▲23	0	▲23	▲18	▲5	5	▲14	▲18	▲9
販売価格	27	59	59	68	73	59	55	55	55

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12見通し
売上	▲27	36	▲36	23	41	27	▲23	▲9	23	23
収益	▲18	18	▲41	9	9	14	▲18	0	18	0
販売価格	32	55	50	59	64	41	45	50	50	32

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	食料品	建設関連	その他
売上額	4月～6月と比較	23	67	11	0
	10月～12月の見通し	23	50	11	14
収益	4月～6月と比較	18	33	11	14
	10月～12月の見通し	0	17	0	▲14
販売価格	4月～6月と比較	50	50	44	57
	10月～12月の見通し	32	33	11	57
仕入価格	4月～6月と比較	50	50	44	57
	10月～12月の見通し	41	50	11	71
在庫	4月～6月と比較	23	17	22	29
	10月～12月の見通し	5	17	0	0
資金繰	4月～6月と比較	0	0	▲11	14
	10月～12月の見通し	▲5	▲33	0	14

概況

調査先小売業全体の業況を前年同期（22年7～9月）と比較してみると、売上で「増加」した先47%、「変わらず」の先26%、「減少」した先27%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は20となり、前回調査より15ポイント改善しました。

収益は「増加」した先34%、「変わらず」の先34%、「減少」した先32%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は2となり、前回調査より19ポイント改善しました。

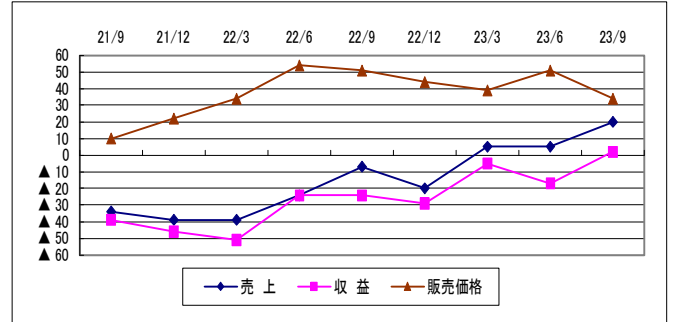
販売価格は「増加」した先44%、「変わらず」の先46%、「減少」した先10%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は34となり、前回調査より17ポイント下降しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(23/6)	16	11	14	5
	今回(23/9)	19	11	11	20
収益	前回(23/6)	10	14	17	▲17
	今回(23/9)	14	14	13	2
販売価格	前回(23/6)	23	16	2	51
	今回(23/9)	18	19	4	34

前年同期比

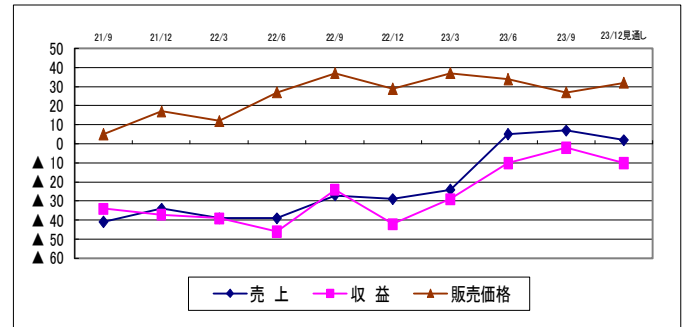
D I 値図表



調査時期	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9
売上	▲34	▲39	▲39	▲24	▲7	▲20	5	5	20
収益	▲39	▲46	▲51	▲24	▲24	▲29	▲5	▲17	2
販売価格	10	22	34	54	51	44	39	51	34

直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12見通し
売上	▲41	▲34	▲39	▲39	▲27	▲29	▲24	5	7	2
収益	▲34	▲37	▲39	▲46	▲24	▲42	▲29	▲10	▲2	▲10
販売価格	5	17	12	27	37	29	37	34	27	32

動向

【前年同期との比較】

売上・収益は改善、販売価格は下降しました。内訳をみますと、食料品の売上は悪化しましたが、衣料品・その他は売上・収益ともに改善しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益は改善、販売価格は下降しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益は悪化、販売価格は上昇の見通しです。

調査員のコメントには、「販売価格上昇により業況好調」、「半導体不足の影響により納期が長期化し、売上減少」、「仕入額高騰しているが販売額に転嫁できている」などがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	衣料品	食料品	その他
売上額	4月～6月と比較	7	33	13	▲5
	10月～12月の見通し	2	0	0	5
収益	4月～6月と比較	▲2	17	6	▲16
	10月～12月の見通し	▲10	0	▲13	▲11
販売価格	4月～6月と比較	27	0	44	21
	10月～12月の見通し	32	50	44	16
仕入価格	4月～6月と比較	54	33	81	37
	10月～12月の見通し	54	50	63	47
在庫	4月～6月と比較	▲15	▲50	13	▲26
	10月～12月の見通し	▲17	▲50	6	▲26
資金繰	4月～6月と比較	▲20	▲50	▲19	▲11
	10月～12月の見通し	▲15	▲50	▲13	▲5

概況

調査先建設業全体の業況を前年同期（22年7～9月）と比較してみますと、売上で「増加」した先34%、「変わらず」の先29%、「減少」した先37%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲3となり、前回調査より11ポイント改善しました。

収益は「増加」した先14%、「変わらず」の先41%、「減少」した先45%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲31となり、前回調査より8ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(23/6)	7	16	12	▲14
	今回(23/9)	12	10	13	▲3
収益	前回(23/6)	6	15	14	▲23
	今回(23/9)	5	14	16	▲31

動向

【前年同期との比較】

売上は改善、収益は悪化しました。

内訳のD I 値の推移は以下のようになっています。

- ・ 土木売上：前回▲8→今回±0
- ・ 同 収益：前回 8→今回▲17
- ・ 建築売上：前回▲29→今回▲6
- ・ 同 収益：前回▲41→今回▲35

【直前3ヵ月との比較】

売上は改善、収益は悪化しました。

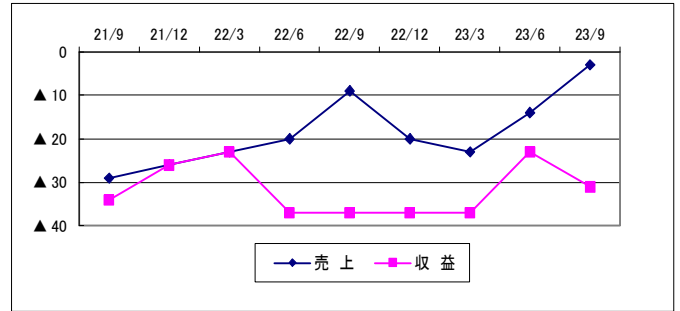
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化の見通しです。

調査員のコメントには、「大型工事が少なく、売上が減少傾向」、「現場毎の原価管理徹底により利幅確保に努める」、「木材高騰による影響あり、価格の転嫁を行っている」、「従業員の高齢化により人材確保が課題」といったものがありました。

前年同期比

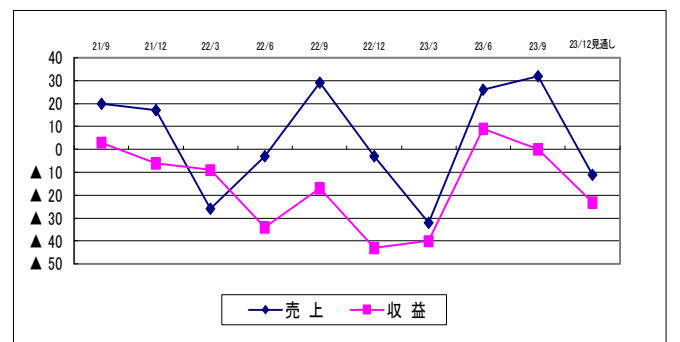
D I 値図表



調査時期	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9
売上	▲29	▲26	▲23	▲20	▲9	▲20	▲23	▲14	▲3
収益	▲34	▲26	▲23	▲37	▲37	▲37	▲37	▲23	▲31

直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12見通し
売上	20	17	▲26	▲3	29	▲3	▲32	26	32	▲11
収益	3	▲6	▲9	▲34	▲17	▲43	▲40	9	0	▲23

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	土木	建築	その他
売上額	4月～6月と比較	32	25	35	33
	10月～12月の見通し	▲11	0	▲12	▲33
施工高	4月～6月と比較	17	17	29	▲17
	10月～12月の見通し	▲11	▲8	▲12	▲17
収益	4月～6月と比較	0	0	0	0
	10月～12月の見通し	▲23	▲17	▲24	▲33
請負価格	4月～6月と比較	26	33	35	▲17
	10月～12月の見通し	9	17	6	0
材料価格	4月～6月と比較	69	67	77	50
	10月～12月の見通し	46	42	53	33
在庫	4月～6月と比較	3	0	6	0
	10月～12月の見通し	3	0	6	0
資金繰	4月～6月と比較	0	▲8	0	17
	10月～12月の見通し	▲3	▲17	12	▲17

概況

調査先サービス業全体の業況を前年同期(22年7~9月)と比較してみますと、売上で「増加」した先27%、「変わらず」の先40%、「減少」した先33%で、そのD I 値(増加割合-減少割合)は▲6となり、前回調査より21ポイント改善しました。

収益は「増加」した先19%、「変わらず」の先47%、「減少」した先34%で、そのD I 値(増加割合-減少割合)は▲15となり、前回調査より22ポイント改善しました。

調査回答数(前年同期比)

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(23/6)	9	20	23	▲27
	今回(23/9)	14	21	17	▲6
収益	前回(23/6)	7	19	26	▲37
	今回(23/9)	10	24	18	▲15

動向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善しました。

内訳をみますと、その他が売上・収益ともに大きく改善しています。

【直前3ヵ月との比較】

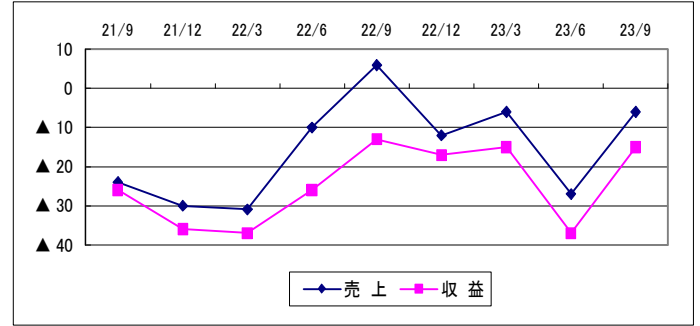
売上・収益ともに改善しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上は悪化、収益は改善する見通しです。

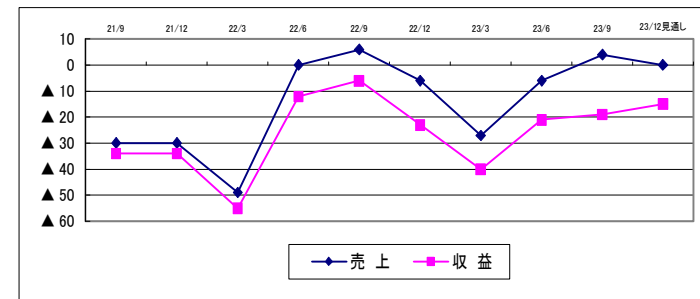
調査員のコメントには、「イベントの復活で回復している状況」、「アルバイトの確保ができていない」、「受注数が少なく、売上が減少しているが、今後やや増加する見通し」、「コロナ前の売上までは回復できていない。売上増加に向け、販路拡大および従業員のスキルアップが課題」、「光熱費高騰により10月より価格改定を行う」といったものがありました。

前年同期比 DI値図表



調査時期	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9
売上	▲24	▲30	▲31	▲10	6	▲12	▲6	▲27	▲6
収益	▲26	▲36	▲37	▲26	▲13	▲17	▲15	▲37	▲15

直前3ヵ月比 DI値図表



調査時期	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12見通し
売上	▲30	▲30	▲49	0	6	▲6	▲27	▲6	4	0
収益	▲34	▲34	▲55	▲12	▲6	▲23	▲40	▲21	▲19	▲15

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	理容美容	車両関係	その他
売上額	4月~6月と比較	4	▲25	0	14
	10月~12月の見通し	0	▲38	▲7	14
収益	4月~6月と比較	▲19	▲38	▲40	▲3
	10月~12月の見通し	▲15	▲50	▲27	0
料金価格	4月~6月と比較	31	0	27	41
	10月~12月の見通し	15	13	40	3
材料価格	4月~6月と比較	75	50	73	83
	10月~12月の見通し	62	50	80	55
資金繰	4月~6月と比較	▲27	▲25	▲33	▲24
	10月~12月の見通し	▲29	▲25	▲33	▲28

経営上の問題点 【複数回答】

	1位	2位	3位
製造業	原材料高 64.5%	売上の停滞・減少 45.2%	人手不足 32.3%
卸売業	売上の停滞・減少 36.4%	仕入先からの値上げ要請 31.8%	利幅の縮小 27.3%
小売業	売上の停滞・減少 46.3%	商圏人口の減少 41.5%	仕入先からの値上げ要請 26.8%
建設業	人手不足 68.6%	材料価格の上昇 51.4%	売上の停滞・減少 40.0%
サービス業	材料価格の上昇 53.8%	売上の停滞・減少 42.3%	人手不足 25.0%

経営施策 【複数回答】

	1位	2位	3位
製造業	経費を節減する 54.8%	販路を広げる 45.2%	人材を確保する 41.9%
卸売業	経費を節減する 54.5%	情報力を強化する 54.5%	販路を広げる 50.0%
小売業	経費を節減する 61.0%	品揃えを改善する 34.1%	人材を確保する 31.7%
建設業	人材を確保する 62.9%	経費を節減する 51.4%	販路を広げる 45.7%
サービス業	経費を節減する 51.9%	人材を確保する 34.6%	販路を広げる 32.7%

【調査要領】

1. 調査地域 北見地方1市4町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
2. 調査時点 2023年9月
2023年7月～9月期の実績および見込み
2023年10月～12月期の見通し
3. 調査対象企業 当金庫お取引先181社（任意抽出）
回答企業数 181社
回答率 100%
4. 調査方法 調査表による訪問聞き取り調査
調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
5. 業種別回答企業数

製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業	合計
31	22	41	35	52	181

6. 分析方法 各質問項目を100分比に換算し、パーセント（%）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（DI値）」で分析を行いました。

企業の経理事務を便利にサポート
インターネットバンキング
WEB-FB

- 総合振込 ■給与・賞与振込 ■都度振込 ■口座振替 ■入出金明細照会 ■残高照会

低コスト！

インターネットが使える環境さえあれば、すぐにご利用が可能です。
 専用ソフト、専用端末などに余計な経費をかけません。

効率的！

総合振込、給与・賞与振込、都度振込、口座振替業務がインターネット経由でスピーディにご利用いただけます。
 振込や振替のデータは外部ファイルから取り込むこともできます。

便利！

登録先の口座以外でも当日振込が可能です。急な振込がオフィスのパソコンから随時できるので便利。
 また、振込完了や為替エラーなど、重要な連絡を電子メールでタイムリーにお知らせします。

安心！

一般者用ID、承認者用ID、管理者用IDの3つのIDで権限設定が可能です。
 登録したデータの承認を貴社の管理者がダイレクトにできるため、厳密なチェックが可能です。
 電子証明書とワンタイムパスワードにより、安全にご利用いただけます。

オホーツク圏経済情勢報告（令和5年7月判断）概況

	前回(5年4月判断)	今回(5年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
総括判断	持ち直しつつある	持ち直しつつある 【判断の据え置きは、令和5年1月判断以来、2期ぶり】	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある。 観光は、持ち直しつつある。 また、雇用は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

	前回(5年4月判断)	今回(5年7月判断)	前回比較
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある	➡
観光	持ち直しつつある	持ち直しつつある	➡
雇用	持ち直しつつある	持ち直しのテンポが緩やかになっている	↘

公共事業	前年を下回る	前年を下回る	➡
住宅着工	前年を下回る	前年を下回る	➡

先行き	先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。		
-----	--	--	--

(注)5年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。